

2004年4月から2011年10月までに当院に入院されて
発症から7日以内の一過性脳虚血発作と診断された患者さんへのお知らせ

「一過性脳虚血発作患者の転帰に関する研究」に関する情報開示

平成23年10月11日
川崎医科大学附属病院
脳卒中科 井口 保之

一過性脳虚血発作の患者さんでは「高齢である」、「高血圧がある」、「発作持続時間が長い」、「糖尿病がある」などの特徴があると、その後に一過性脳虚血発作をもう一度発症したり、場合によっては最終的に脳梗塞を発症し重い後遺症をのこす患者さんが多いと報告されています。一方で、一過性脳虚血発作の患者さんが入院時に実施した画像検査（CT、MRI、エコー、カテーテル検査）に何か異常所見があった場合に、そのような所見がない患者さんと比較してより再発しやすいのかについてはまだ詳しく分かっていません。そこで当院に入院された一過性脳虚血発作患者さんの入院時の画像検査の特徴を調査し、その後一過性脳虚血発作の再発があった、あるいは脳梗塞を発症した患者さんの画像検査結果に特徴がないか、患者さんの診療データを用いて後方視的調査研究を実施することにいたしました。

具体的には2004年4月から2011年10月までに当院に入院された発症7日以内の一過性脳虚血発作の患者さんを対象としております。診療で得られた入院時検査所見（採血、尿および画像検査）と、その後の一過性脳虚血発作の再発、脳梗塞発症との関連を調べます。この研究で得られた内容を学会や科学雑誌で公表することについてご理解とご協力を賜りたく存じます。患者さんの情報については個人名や個人を特定できるデータは伏せており、当院の個人情報保護規定に従って厳密に管理し、第三者が閲覧することはありません。また、この研究で患者さんは不利益を被ることはないと考えております。なお本研究は当院倫理委員会の承認を得ております。利益相反については、当院利益相反委員会に自己申告書を提出し承認を得ております。この研究に対して、ご質問がある方は、下記担当者までご連絡ください。

担当： 川崎医科大学附属病院 脳卒中科 井口 保之
岡山県倉敷市松島 577 TEL：086-462-1111
FAX：086-464-1128